

佐賀県内インターネット網整備と今後の動き

—目 次—

1. 自己紹介
2. 佐賀県内インターネット網整備に着手した背景
3. 実験プロジェクトの変遷
4. 佐賀県内の商用ネットワーク群
5. 九州内ブロードバンド普及率
6. 課 題

1. 自己紹介



(1)株式会社 デジタルコミュニケーションズ佐賀

業務概要 ネットワーク設計・構築および運営に特化した事業展開

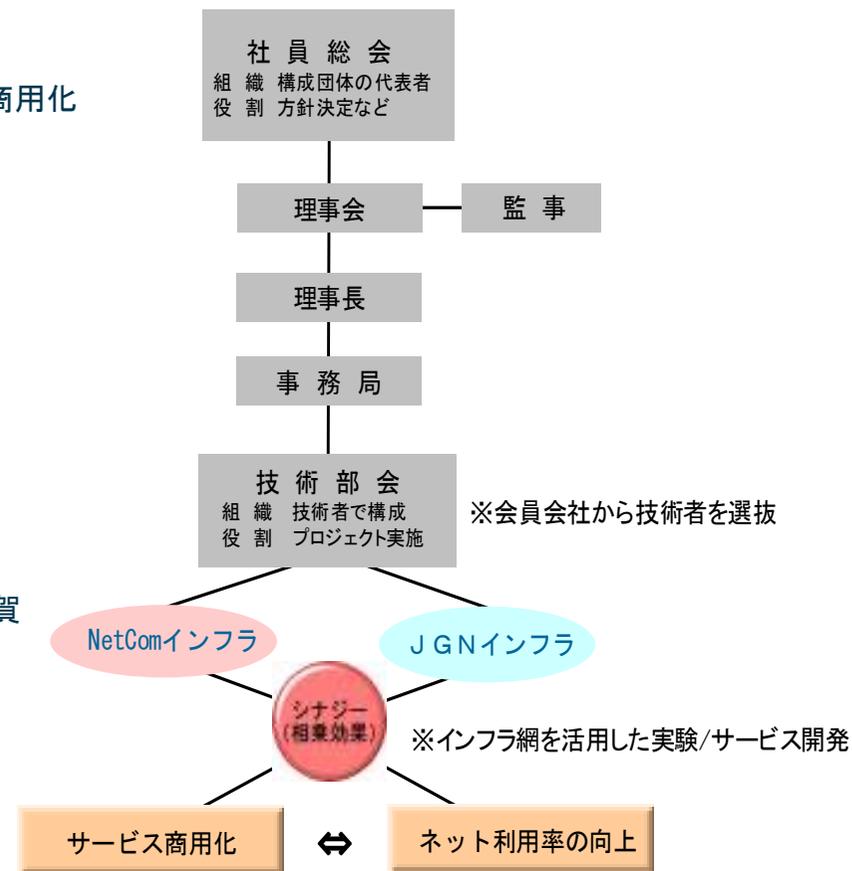
社 歴	平成 9年(1997年)	佐賀銀行の呼びかけにより佐賀新聞社などの出資により創業
	平成10年(1998年)	NetComさが を組織し、県内4CATV局の相互接続による通信網構築開始
	平成13年(2001年)	県内4CATV局がインターネット商用開始
	平成14年(2002年)	県内5CATV局がインターネット商用開始
	平成15年(2003年)	佐賀県教育ネットワーク設計受託(佐賀県教育センター) 佐賀県公共ネットワーク設計受託(佐賀県企画部)
	平成16年(2004年)	教育用インターネットの管理・運営受託
	平成17年(2005年)	佐賀デジタルネットワーク(株)に出資
	平成18年(2006年)	ISO/IEC27001:2005を取得
	平成19年(2007年)	2007青春・佐賀総体で佐賀県、宮崎県間でハイビジョン中継を実施
	平成20年(2008年)	佐賀シティビジョン, KDDI研究所と「エリアコンテンツ配信実験」に着手

役員構成	代表取締役(常 勤)	西村龍一郎(佐賀銀行出向者)
	取 締 役(常 勤)	溝口 正昭(佐銀コンピュータサービス出身者)
	取 締 役(非常勤)	大野 裕志(CableOne専務取締役)
	取 締 役(非常勤)	松岡 実信(佐賀新聞社, NetComBB代表取締役)
	監 査 役(非常勤)	砥綿 正徳(サガテレビ常務取締役)

株主構成 全20社 *敬称略
佐賀銀行グループ、佐賀新聞社グループ、サガテレビグループ、九州電力(株)
三菱電機情報ネットワーク(株)、(株)ケーブルワン、アットネットホーム(株)
(株)佐賀電算センター、(株)佐賀共栄銀行、佐賀信用金庫、(株)筑邦銀行
佐賀シティビジョン(株)、(株)唐津ケーブルテレビジョン、伊万里ケーブルテレビジョン(株)
(株)親和銀行、十八ソフトウェア(株)

(2)NPO法人NetComさが

形態	特定非営利活動法人(NPO)
創立	2006年11月20日
目的	<ul style="list-style-type: none"> ①保有する通信基盤を利用した研究開発と商用化 ②メディア・リテラシーの研究と実践 ③ブロードバンドの普及
構成	<p>地場通信事業者が中核。8法人、2個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐賀シティビジョン株式会社 株式会社唐津ケーブルテレビジョン 伊万里ケーブルテレビジョン株式会社 株式会社ケーブルワン 佐賀デジタルネットワーク株式会社 株式会社佐賀新聞社 株式会社ネットコムBB 株式会社デジタルコミュニケーションズ佐賀 個人2名
理事長	福田伸裕(佐賀新聞社クロスメディア室長)
副理事長	大野裕志(ケーブルワン専務取締役) 西村龍一郎
監事	中村隆(唐津ケーブルテレビジョン代表取締役)
事務局	デジタルコミュニケーションズ佐賀に設置



2. 佐賀県内インターネット網整備に着手した背景

【動機】

- ・県内産業の弱体化
- ・県内企業数の減少

⇒人口規模

872,302人

*福岡県 5,028,026人

⇒世帯数

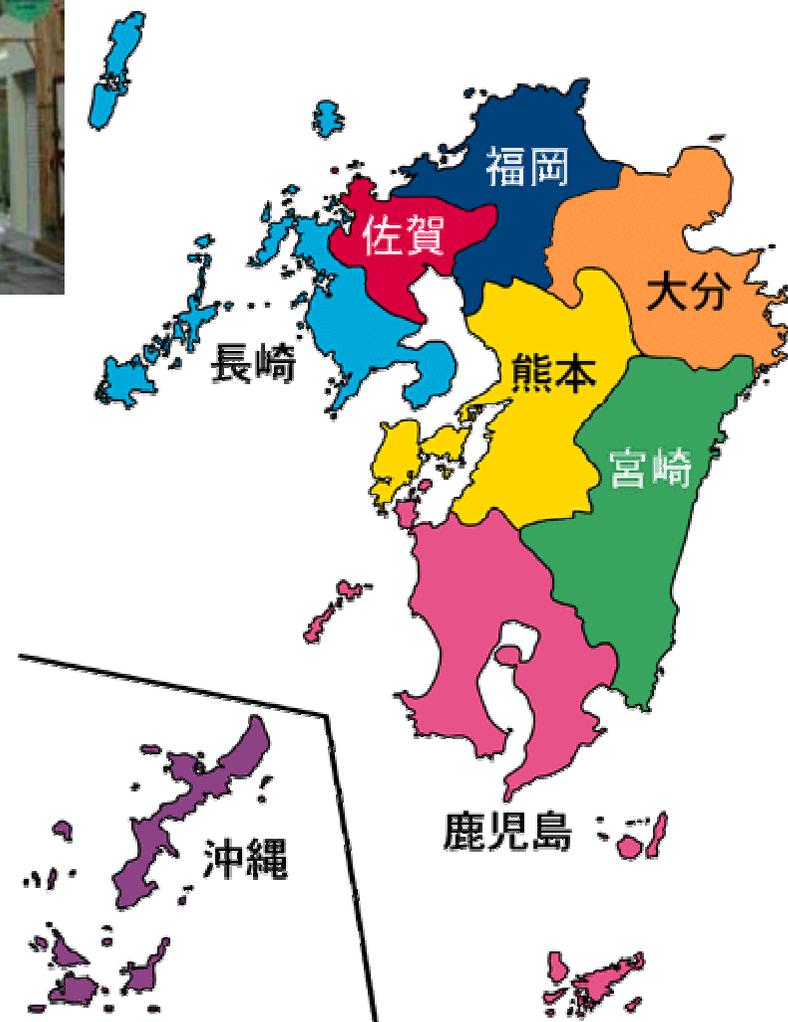
300,048世帯(2.91人/世帯)

*福岡県 2,078,133世帯(2.42人/世帯)

⇒事業所数

約40,818事業所(全国46位)

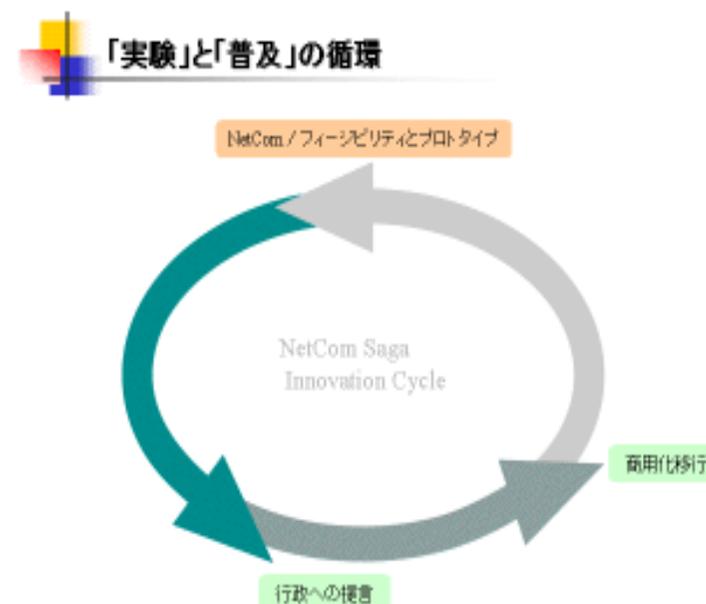
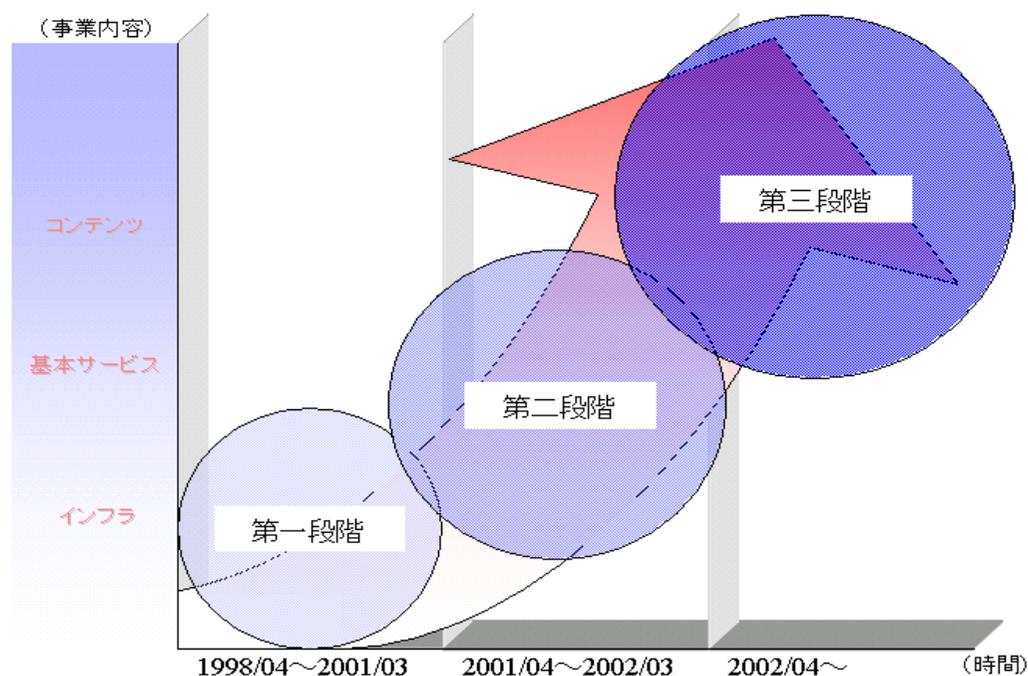
*福岡県 約226,986事業所(全国8位)



基礎資料:2006年8月末,住民基本台帳に基づく調査
平成16年事業所・企業統計調査

3. 実験プロジェクトの変遷

- 第一段階(1998/04~2001/03) ⇒ インフラ開発中心  CATV局分布
- 第二段階(2001/04~2002/03) ⇒ サービスプラットフォーム開発中心  佐賀BMP実験.mpg
- 第三段階(2002/04~2004/03) ⇒ コンテンツサービス開発中心
- 第四段階(2004/04~) ⇒ 組織見直し、研究開発・普及活動にシフト



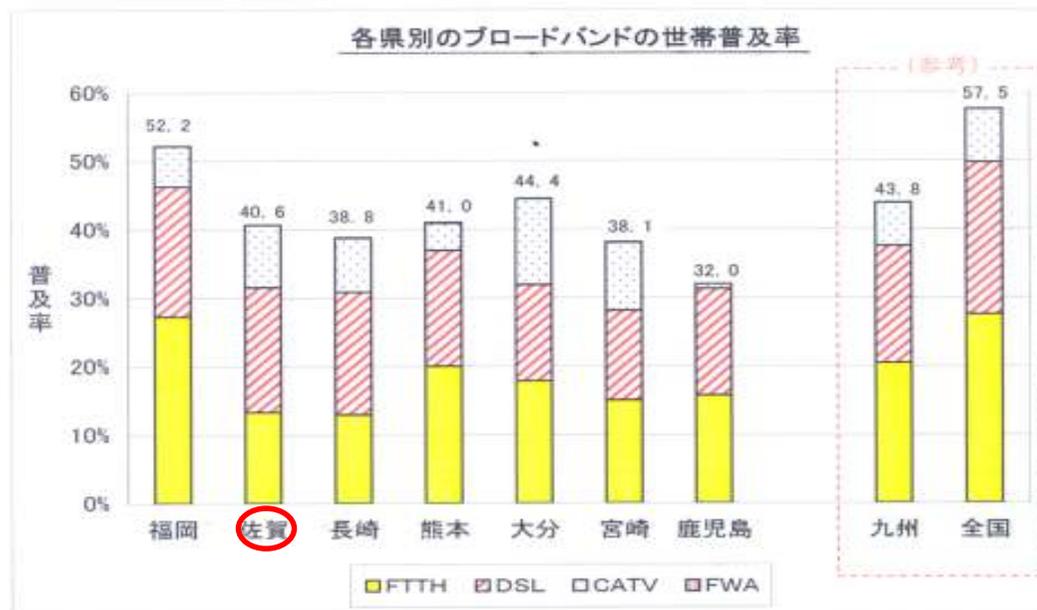
5. 九州内ブロードバンド普及率(2008/12末現在)

インターネットのブロードバンド・アクセスの契約数等(平成20年12月末現在)

ブロードバンド・アクセス

	平成20年9月末		平成20年12月末			
	契約数	世帯普及率	契約数	前四半期差	前四半期比	世帯普及率
九州	2,390,586	43.6%	2,425,094	34,508	1.4%	43.8%
福岡県	1,098,228	52.2%	1,111,432	13,204	1.2%	52.2%
佐賀県	122,275	40.4%	124,061	1,786	1.5%	40.6%
長崎県	231,500	38.5%	235,307	3,807	1.6%	38.8%
熊本県	290,192	40.7%	294,481	4,289	1.5%	41.0%
大分県	218,607	44.2%	222,493	3,886	1.8%	44.4%
宮崎県	184,958	37.8%	187,980	3,022	1.6%	38.1%
鹿児島県	244,826	31.6%	249,340	4,514	1.8%	32.0%
全国	29,755,467	57.5%	30,107,327	351,860	1.2%	57.5%

注 表中の数字で下線を付しているものについては、前回の公表時以降に訂正があったもの。



注 全国の都道府県別のブロードバンド普及状況は図4を参照。

・低迷するブロードバンド利用率の解消

⇒魅力あるアプリケーションやコンテンツの流通促進？

<http://www.saga-s.co.jp/>

トップ | 佐賀県内ニュース

GPS活用 店や観光、イベント情報を携帯配信

NetComさがなどは、衛星利用測位システム(GPS)の位置情報を基に、近くにある店や観光、災害などさまざまな情報を携帯電話に配信する実験に成功した。携帯電話だけでなくさまざまなメディアへの配信も可能で、実用化に向けて準備を進める。



実験に参加したのは、産官学連携のICT推進団体「九州情報通信連携推進協議会」、佐賀シティビジョン、NetComさが、KDDI研究所。佐賀県庁周辺で4月27日に実験した。

KDDI研究所の通信基盤を利用、携帯電話のGPS情報から所在地を把握し、あらかじめ収集していた情報から半径数十メートル内にある店や観光スポットの案内などを送信できた。位置移動にも対応でき、県庁周辺の映像や災害情報も配信した。

GPSを活用した情報配信システムは、GPSで収集した位置情報を基に、所在地周辺の情報をインターネット回線を通じて流す。ショッピング、食事、観光、各種施設、災害、渋滞などさまざまな情報提供が可能で、情報の充実が課題。ユーザーが

好みの情報を選ぶこともできる。

自治体がホームページで発信する情報や地域SNSなどの信頼性の高い情報源との連携も考える。カーナビやパソコンやPDA、テレビなどへの配信も検討する。

NetComさがの西村龍一郎事務局長は「地域の情報を自動的に配信するサービスが可能。防災、教育など活用の幅も広い」と話す。

【写真】携帯電話に映し出される観光やグルメの情報＝デモ画面

2009年05月27日更新

- 「2007青春・佐賀総体」広域中継プロジェクト
- KDDI研究所との「エリアコンテンツ配信実験」
- 「エリアコンテンツ配信実験」デモビデオ